

10.3~1.23

後継者に必要な「知識」と「ノウハウ」を習得

後継者アカデミー2023

後継者や事業承継間もない経営者層を対象に、事業を引き継ぐ心構えや経営に必要な基礎知識を学ぶ全5回の連続セミナー「後継者塾アカデミー2023」を開催した。

セミナーでは、神戸経営研究所代表・中小企業診断士の塔筋幸造氏より、会社の根幹となる企業理念の重要性をはじめ、戦略立案手法である「ファイブフォース分析」による業界構造の把握や自社の優位性・競合分析について、具体的な事例を用いて解説した。

また、直面する経営課題や後継者としての悩みについて個別にフォローする「相談会」を開催したほか、セミナー最終日には、これまでの学びの成果として「経営計画発表会」を実施し、各参加者が将来のビジョンや決意を語った。

セミナー終了後には、過去受講者も交えた交流会を開催し、同じ境遇の仲間同士で積極的な意見交換が行われた。

参加者からは「異業種の経営者と知り合うことができ、ビジネス知識の幅が広がった」との声が聞かれた。



中小企業振興部

12.18

幸福学を経営に活かす

自己変革塾 特別講演会

経営者が新たな価値観を学ぶ「自己変革塾」では、ウェルビーイングを実現する次世代型の組織づくりをテーマに、幸福学の権威である慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授の前野隆司氏を講師に迎え、特別講演会を開催した。

前野氏は、ウェルビーイング経営がもたらす恩恵に関して、「幸福な社員の創造性は3倍、生産性は3割以上も高くなる。従業員が幸せになれば、企業価値の向上や収益拡

大が期待できる」と強調。さらに、企業の成功事例として、「伊那食品工業(株)では、売上目標や業績評価もなく、従業員がコツコツと利益を伸ばす「年輪経営」を実現。幸せで楽しく働ける職場環境が若年層からの支持を集め、全国から学生が殺到している」と紹介した。

最後に、「会社を変革するには、ウェルビーイング経営の考え方が不可欠。社内が感謝と承認に溢れ、経営者も従業員も活力に満ちた会社を目指してほしい」と締めくくった。



会員事業部人材開発チーム

11.30 CO₂排出量を減らす 具体的な手法を学ぶ

製造現場の「脱炭素」実践セミナー



次世代産業委員会は、CO₂排出量の可視化クラウドサービスを展開するアスエネ(株)共同創業者兼COOの岩田圭弘氏を講師に迎え、セミナーを開催した。

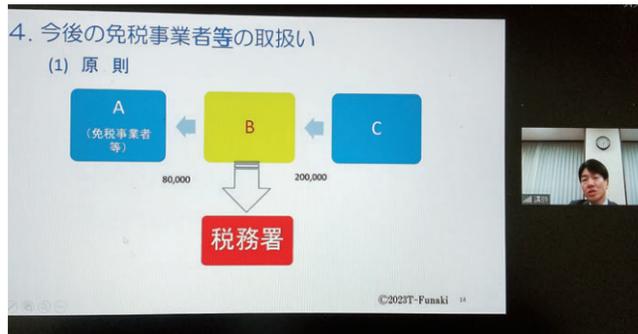
岩田氏は、国が2024年を目途にGHG排出量の推奨算定方法を変更する方針を示したことを挙げ「サプライヤーにも削減努力がより求められるようになる。中小企業も、取引先から排出量の開示と削減が求められた際に対応できるよう、予め準備しておく必要がある」と強調した。

続いてDaigasエナジー(株)、シャープエネルギーソリューション(株)より、各社の削減ソリューションを紹介した。

産業部産業・国際チーム

12.6 インボイス制度の実務を学ぶ

インボイス制度・電子帳簿保存法実務セミナー



インボイス制度と電子帳簿保存法について、基礎知識と経理実務を学ぶため、船木俊晴税理士事務所の船木俊晴氏を講師に迎え、オンラインセミナーを開催し、約180名が参加した。

船木氏は、インボイス制度開始後の振込手数料の取り扱いなど、経理実務の対応方法とともに、電子帳簿保存法における電子取引データの保存要件などを解説した。

参加者からは「オンラインで参加しやすく、具体的で分かりやすかった」などの声が聞かれた。

中小企業振興部

12.18 神戸の魅力や 地域プロジェクトを紹介

支社長・支店長懇談会



神戸市内に支社・支店を置く会員事業所を対象に、神戸経済に関する最新情報の提供や会員同士の交流を目的として、支社長・支店長懇談会を開催した。

今回は、今西副市長を講師に迎え、「海と山が育むグローバル貢献都市」をテーマに講演を実施。地域の拠点駅の再整備や、水素スマートシティ神戸構想など、神戸市の重点施策を詳しく解説した。

講演終了後の交流会では、役員・議員も多数参加し、参加者は積極的に名刺交換を行い、ビジネス交流の輪を広げた。

会員事業部会員事業チーム

12.19 部下の育成に向けた コミュニケーションスキルを学ぶ

中堅・管理職のためのハラスメントを防ぐ叱り方・褒め方



部下の育成に不可欠なコミュニケーションスキルを身につけるため、(株)アフェクト代表取締役の大倉啓克氏を講師に迎え、セミナーを開催した。

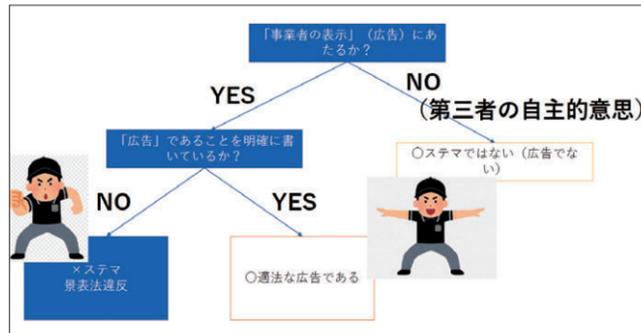
大倉氏は、部下の視点を変え、気づきを与えることの重要性を説き、「部下の成長は上司に大きく左右される。聴く力・叱る力・褒める力を駆使し、上手く導いてほしい」と強調した。

参加者からは、「部下との対話では、目標達成への意識づけが重要だと感じた。日頃のコミュニケーションから取り入れていきたい」との声が聞かれた。

会員事業部人材開発チーム

12.11 ステマにならないための 実践方法を学ぶ

早わかり、ステルスマーケティング規制



2023年10月1日より、広告であることを隠した広告「ステルスマーケティング(ステマ)」が景品表示法の不当表示として規制されたことを受け、弁護士の村上英樹氏を講師に迎え、セミナーを開催した。

村上氏は、消費者にとって事業者の表示であることが明瞭になっていないものはステマに該当するとして、事例を紹介。「広告なら広告と分かるよう、『#PR』などの表示を明瞭にする必要がある」と訴えた。また、規制前に投稿された広告も規制対象となる点に注意喚起し、「Honesty is the best policy. 正直が一番。」と結んだ。

西神戸支部

12.12 SDGsへの理解を深める 交流ウォーキングイベントを開催

企業交流リレー運動会・第2弾



神戸スポーツ産業懇話会では、運動を通じた企業間交流や健康経営の推進を目的とした体験型イベントを開催している。

今回は、兵庫県との共同企画として、ウォーキングを楽しみつつSDGsについて学ぶことができる交流イベントを開催。参加者は運動習慣の重要性について理解を深めた後、三宮からポートアイランドまでの約3.6kmをウォーキングした。

その後、(株)神戸ポートピアホテルを視察し、養蜂事業やコージェネレーションシステムの導入、リサイクルといった同社のSDGsへの取り組みを学んだ。

産業部産業・国際チーム

1.24 現場で活躍する 様々な産業用ロボットを視察

化学部会 視察会



化学部会は、川崎重工業(株)西神戸ロボットショールームの視察会を開催した。同工場では、自動車のボディ組み立てラインに使われる溶接ロボットや、重い荷物の積み下ろしができるピッキングロボット、医療用ロボットなど約70台以上が展示されている。

当日は、同社の産業用ロボットの歴史や、導入事例について説明の後、産業用ロボットの現場での活用シーンを再現しているショールームを視察。参加者は関心を持ってその様子を見学し、「自社工場の作業効率化や、省人化に繋がるヒントが得られた」との声が聞かれた。

産業部産業・国際チーム

1.29 電子帳簿保存法への対応と デジタル活用方法を学ぶ

次世代産業委員会 DXセミナー



次世代産業委員会は、「電子帳簿保存法への対応」をテーマにセミナーを開催した。同法改正により、1月から電子取引のデータ保存が完全義務化され、企業からは業務負担の増加や人員不足を懸念する声も聞かれる。

セミナーでは、(株)オプティムビジネス統括本部サブマネージャーの安西文哉氏が同法の概要や対応方法、対応できない場合のペナルティなどを説明するとともに、AIを活用したデジタルサービスを紹介した。

安西氏は、「対応を誤れば企業として社会的信頼を失う可能性もある」と指摘し、適切な対策の必要性を強調した。

産業部産業・国際チーム